

平成 18年 3月期 第1四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 17年 7月 26日

上場会社名 株式会社日清製粉グループ本社

上場取引所 東大

コード番号 2002

本社所在都道府県

(URL <http://www.nisshin.com>)

東京都

代表者 取締役社長

氏名 長谷川 浩嗣

問合せ先責任者 総務本部 広報グループ長

氏名 稲垣 泉

(TEL: (03) - 5282 6650)

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

・固定資産の減価償却の方法については、影響が僅少なため、簡便な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成 18年 3月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日 ~ 平成17年6月30日)

## (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年 3月期 第1四半期	105,124	3.0	4,874	8.6	5,668	7.0	2,930	4.1
17年 3月期 第1四半期	102,043	11.5	5,330	11.0	6,097	11.7	3,055	22.4
17年 3月期	416,222		22,896		25,120		13,597	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年 3月期 第1四半期	12	68	12	64
17年 3月期 第1四半期	13	22	13	21
17年 3月期	58	06	58	00

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

[当第1四半期の概況]

当第1四半期につきましては、第二次中期経営計画がスタートし、主力の製粉事業、食品事業を始めとする各事業において、積極的な販売促進活動や新チャネル開拓を進め、出荷伸長を図りました。特に、コエンザイムQ<sub>10</sub>の水溶性製品の拡販を進めた日清ファルマ(株)や高水準の完工高を計上した日清エンジニアリング(株)等の収益が計画を上回り、グループ全体の業績も計画を上回って順調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,051億24百万円(前年同期比3.0%増)と増収となりました。収益面では積極的な販売促進費等の支出により経常利益は56億68百万円(前年同期比7.0%減)、四半期純利益は29億30百万円(前年同期比4.1%減)と減益となりました。

[セグメント別営業概況]

## 製粉事業

国内の小麦粉市場は前年を下回る厳しい環境にありましたが、日清製粉(株)は得意先とのリレーションシップ・マーケティングに取組み拡販に努めた結果、出荷は前年を上回ることができました。

製品の品質管理面では、小麦粉の製造面のみならず、流通・輸送業者を含めた「クリーン&セーフティキャンペーン」に引き続き取組み、更なる安心・安全対策を強化してまいりました。

副製品であるふすまにつきましては、市況は軟調に推移しました。

海外事業におきましては、昨年12月に竣工したカナダの新製粉工場が順調に稼働し、バンクーバー市場を中心として出荷伸長を図るとともに、米国西海岸での販売も開始いたしました。

## 食品事業

日清フーズ(株)は、引き続き販売競争は厳しい状況下にありましたが、マ・マーブランド50周年をメインテーマに広告宣伝及び販促活動を積極的に展開し、パスタ、パスタソース、冷凍食品の出荷が好調に推移いたしました。また、プレミックスは、国内は勿論、タイ国、中国等海外においても順調に出荷伸びいたしました。中食・惣菜事業につきましては、路面店の展開や量販店との取組みを着実に進めてまいりました。

オリエンタル酵母工業(株)におきましては、本年5月末にお客様に対し新製品や新メニュー提案を行うプレゼンテーション機能とR&D機能をあわせ持つP&Bセンターが完成しました。食品部門はフラワーペースト等の製パン用原料素材やミネラル酵母類の売上げが堅調に推移しました。バイオ部門は診断薬や細胞培養関連製品の出荷は順調に推移しましたが、受託業務や養魚飼料が低迷し、売上げはほぼ前年並となりました。

日清ファルマ(株)は、主力のコエンザイムQ<sub>10</sub>の国内向けの需要が引き続き拡大しました。特に店舗販売向けの末端製品は、4月から水溶性コエンザイムQ<sub>10</sub>を使用した「キューテンライフ」を発売し、市場における当社製品の認知度をさらに高めることができました。

## その他事業

日清ペットフード(株)は、積極的な拡販施策を推進し、猫用ドライ製品を中心に出荷伸びいたしました。また犬用製品では、通信販売専用のプレミアムフードを4月より発売し、新しいチャネルでの拡販を図りました。

日清エンジニアリング(株)は、高水準の受注を維持し、大口案件が完工したため、売上げは前年を大きく上回りました。粉体機器の販売及び粉体受託加工においても新しい販路の開拓に努めました。

NBC(株)は、携帯電話や濾過布などの産業資材用及び自動車用フィルターなどの化成品の出荷が順調に推移し、売上げは前年を上回りました。

## (2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年3月期第1四半期	371,461	241,470	65.0	1,046	06
17年3月期第1四半期	357,572	230,972	64.6	999	06
17年3月期	372,968	241,282	64.7	1,042	92

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	5,648	4,674	3,223	51,869
17年3月期第1四半期	3,486	2,826	2,664	52,124
17年3月期	21,567	17,590	4,317	54,047

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、順調な業績を受けて56億48百万円となりました。この資金を設備投資等投資活動によるキャッシュ・フローに46億74百万円投入するとともに、株主の皆様への利益還元として当期増配した配当金の支払い及び自己株式の取得等に32億23百万円充当いたしました。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より21億77百万円減少し、518億69百万円となりました。

### 添付資料

要約四半期連結貸借対照表、要約四半期連結損益計算書  
要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

### 【参考】

## 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	210,000	11,000	5,600
通期	435,000	25,500	13,300

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 51円70銭

平成17年5月12日開催の取締役会において、平成17年11月18日付(配当起算日平成17年10月1日)をもって普通株式1株を1.1株に分割することを決議しており、上記1株当たり予想当期純利益(通期)は、株式分割後の発行済株式数により算出しております。

### 【業績予想に関する定性的情報等】

業績は当初予想通り順調に推移しており、業績予想の変更はありません。

(注) 上記の予想は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値等を確約したり、保証するものではありません。

(添付資料)

## 1. 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期) (16.6.30)	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期) (17.6.30)	比 較 ( は 減 )	前連結会計年度 (17.3.31)
(資産の部)				
流動資産	156,428	170,088	13,660	170,349
現金及び預金	26,143	51,888	25,744	54,065
受取手形及び売掛金	53,447	55,468	2,020	59,468
有価証券	27,401	9,596	17,805	6,783
たな卸資産	34,773	38,580	3,807	38,580
その他	14,915	14,765	149	11,663
貸倒引当金	253	210	42	211
固定資産	201,143	201,372	229	202,618
有形固定資産	108,843	108,554	288	108,860
建物及び構築物	42,017	42,525	507	42,407
機械装置及び運搬具	32,344	32,236	108	32,741
土地	29,239	29,759	519	29,729
その他	5,241	4,033	1,208	3,982
無形固定資産	8,792	8,889	96	9,124
投資その他の資産	83,508	83,929	421	84,634
投資有価証券	75,861	76,645	784	77,262
その他	8,210	7,906	303	8,002
貸倒引当金	563	622	59	630
資産合計	357,572	371,461	13,889	372,968

(単位：百万円)

科 目	前 年 同 四 半 期 (平成17年3月期 第1四半期) (16.6.30)	当 四 半 期 (平成18年3月期 第1四半期) (17.6.30)	比 較 (は 減)	前 連 結 会 計 年 度 (17.3.31)
( 負 債 の 部 )				
流 動 負 債	62,667	67,432	4,764	67,380
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	23,773	28,182	4,408	28,599
短 期 借 入 金	8,184	7,697	486	8,115
未 払 費 用	13,247	12,192	1,054	13,623
そ の 他	17,461	19,359	1,897	17,041
固 定 負 債	38,471	35,652	2,818	37,545
長 期 借 入 金	1,816	1,658	158	1,680
繰 延 税 金 負 債	12,735	12,762	27	13,014
退 職 給 付 引 当 金	15,845	14,399	1,446	14,928
そ の 他	8,073	6,832	1,240	7,921
負 債 合 計	101,138	103,085	1,946	104,925
( 少 数 株 主 持 分 )				
少 数 株 主 持 分	25,461	26,906	1,445	26,760
( 資 本 の 部 )				
資 本 金	17,117	17,117	-	17,117
資 本 剰 余 金	9,447	9,453	5	9,452
利 益 剰 余 金	180,652	191,487	10,835	190,699
その他有価証券評価差額金	26,255	26,252	3	26,688
為 替 換 算 調 整 勘 定	1,070	997	73	1,216
自 己 株 式	1,429	1,843	413	1,459
資 本 合 計	230,972	241,470	10,497	241,282
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	357,572	371,461	13,889	372,968

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 2. 要約四半期連結損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期) (16. 4. 1~16.6.30)	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期) (17. 4. 1~17.6.30)	比 較 ( は 減)	前連結会計年度 (16. 4. 1~17. 3.31)
売 上 高	102,043	105,124	3,081	416,222
売 上 原 価	69,078	71,681	2,603	283,455
売 上 総 利 益	32,964	33,442	477	132,766
販売費及び一般管理費	27,633	28,567	933	109,870
営 業 利 益	5,330	4,874	456	22,896
営 業 外 収 益	931	969	38	3,358
受 取 利 息	25	14	11	58
受 取 配 当 金	409	439	30	705
持分法による投資利益	273	295	21	1,011
そ の 他	221	219	2	1,582
営 業 外 費 用	164	175	10	1,134
支 払 利 息	51	35	16	197
そ の 他	113	140	26	937
経 常 利 益	6,097	5,668	428	25,120
特 別 利 益	27	33	5	1,397
特 別 損 失	68	13	54	1,455
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,056	5,687	368	25,062
法人税、住民税及び事業税	2,438	2,236	202	8,525
法人税等調整額	-	-	-	890
少数株主利益	561	520	41	2,048
四半期(当期)純利益	3,055	2,930	125	13,597

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 3. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期) (16.4.1 ~ 16.6.30)	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期) (17.4.1 ~ 17.6.30)	前連結会計年度 (16.4.1 ~ 17.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,056	5,687	25,062
減価償却費	2,733	2,912	11,682
利息戻及び受取配当金	384	419	566
持分法による投資利益	273	295	1,011
売上債権の増減額(増加: )	1,769	4,046	4,201
たな卸資産の増減額(増加: )	936	54	4,740
仕入債務の増減額(減少: )	983	443	5,765
その他	1,746	2,856	427
小 計	8,200	8,686	31,563
利息及び配当金の受取額	500	519	839
利息の支払額	39	40	195
法人税等の支払額	5,174	3,516	10,638
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,486	5,648	21,567
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得・売却(取得: )	1,999	2,742	3,207
有無形固定資産の取得による支出	4,842	2,059	16,052
投資有価証券の取得・売却(取得: )	9	7	1,301
その他	6	119	369
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,826	4,674	17,590
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金の増減額(減少: )	653	451	884
自己株式の取得による支出	17	387	133
配当金の支払額	1,505	1,968	2,780
その他	487	415	519
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,664	3,223	4,317
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	71	21
現金及び現金同等物の増減額(減少: )	2,029	2,177	317
現金及び現金同等物の期首残高	54,154	54,047	54,154
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-	210
現金及び現金同等物の期末残高	52,124	51,869	54,047

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 4. セグメント情報

[ 事業の種類別セグメント情報 ]

当四半期 (平成18年3月期第1四半期 平成17年4月1日～平成17年6月30日) (単位:百万円)

	製粉	食品	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	37,947	56,132	11,043	105,124	( - )	105,124
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4,476	221	318	5,015	(5,015)	-
計	42,423	56,353	11,362	110,140	(5,015)	105,124
営業費用	40,098	54,459	10,349	104,907	(4,658)	100,249
営業利益	2,325	1,894	1,012	5,232	(357)	4,874

前年同四半期 (平成17年3月期第1四半期 平成16年4月1日～平成16年6月30日) (単位:百万円)

	製粉	食品	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	38,230	55,651	8,161	102,043	( - )	102,043
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,024	157	336	5,518	(5,518)	-
計	43,254	55,808	8,497	107,561	(5,518)	102,043
営業費用	40,526	53,955	7,567	102,049	(5,337)	96,712
営業利益	2,728	1,853	929	5,511	(181)	5,330

前連結会計年度 (平成16年4月1日～平成17年3月31日) (単位:百万円)

	製粉	食品	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	154,888	218,529	42,804	416,222	( - )	416,222
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	19,211	764	2,326	22,301	(22,301)	-
計	174,099	219,294	45,130	438,524	(22,301)	416,222
営業費用	163,127	211,311	40,096	414,535	(21,209)	393,326
営業利益	10,972	7,982	5,034	23,988	(1,092)	22,896

(注)1. 事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して行っております。

2. 各事業区分の主要製品

製粉...小麦粉、ふすま

食品...プレミックス、家庭用小麦粉、パスタ、パスタソース、冷凍食品、チルド食品、

製菓・製パン用資材、生化学製品、ライフサイエンス事業、健康食品

その他...ペットフード、設備工事、メッシュクロス、荷役・保管